

ガイドブックについて

若年性認知症は65歳未満で発症する認知症のことです。働き盛りの世代で発症し、病状の進行が速いため、本人だけでなく家族の生活にも大きく影響します。若年性認知症に罹患した患者は、自らの変調を認識できず、仕事の継続が困難となり、退職を余儀なくされ経済的に苦しい状況になることもあります。

認知症については普及啓発や医療、介護、福祉の支援体制の整備を進めているところですが、若年性認知症については、支援体制はまだ十分ではない状況です。

現在利用できる制度については、本人、家族への情報が不足していたり、医療、看護、介護の分野や職場においても支援方法についての知識や経験が十分でないことから活用も少ない状況にあります。また、住民の理解も十分でないことから、地域からの支援も得にくい状況にあるとも言われています。

こうしたことから、窓口での相談対応や地域で支援する方々が、若年性認知症の人への支援の視点を整理するため、平成23年度にこのガイドブックを作成し、また、平成28年度に内容の改訂を行いました。ご本人と家族が、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていけるよう、一人でも多くの若年性認知症の支援につながることを願います。

平成24年3月

平成29年3月

三重県健康福祉部長寿介護課